

第1回 インターネット EDI 普及推進協議会 運営委員会 開催

令和4年5月25日、WEB会議（Zoom）にて「インターネット EDI 普及推進協議会(Japan internet EDI Association(略称：JiEDIA/ジェディア)」の第1回運営委員会が開催された。参加者は45名。

まず始めに藤野会長から前回議事録の確認が行われた。続いて、各部会から以下の事項について報告があった。

○普及推進部会

- ・仲矢部会長から普及推進部会の「2021年度活動計画」、「2021年度活動実績」、「2022年度活動計画」等について説明があった。2022年度は、「①JiEDIA活動の周知ならびにホームページ、資料の追加・更新」、「②協議会参加会員間の情報交換」、「③パッケージベンダー、サービス事業者へのインターネット EDI 移行状況調査」、「④今後想定されるリスクと対策の広報」等の取組を行う。
- ・業界団体のインターネット EDI 移行状況報告のとして、石油化学工業協会と流通システム標準普及推進協議会からインターネット EDI の取組等についての紹介があった。

○技術部会

- ・石金部会長から技術部会の「2021年度活動計画」、「2021年度活動実績」、「2022年度活動計画」について説明があった。2022年度は、「①通信プロトコル標準維持管理」、「②証明書運用標準化」、「③検証環境における各種使用確認ならびにテストの実施」、「④各種課題整理の対策検討」等の取組を行う。

○認証局審査部会

- ・石金部会長から認証局審査部会の「2021年度活動計画」、「2021年度活動実績」、「2022年度活動計画」について説明があった。2022年度は、「認証局認定制度ガイドラインの維持管理」、「認証局審査」等の取組を行う。

○PSTN マイグレーションに関して今後想定されるリスクと対策について

- ・仲矢部会長より以下の点について説明があった。下記3点は、各委員に意見募集を実施し、その結果について纏めたものとなる。
 - ① 他の手段（インターネット EDI）への移行が最終年（2023年）に集中するリスク
 - ② 移行が間に合わなかったユーザ企業の伝送遅延（補完策、音声系）による業務影響発生リスク
 - ③ PSTN→IP 網移行（2024/1～12）の障害発生リスク

次回、運営委員会は7/20（水）16:00-17:30 にオンライン会議を予定している。

(JiEDIA 事務局)